

陳情第 3 号



霧島市議会議長

常磐 信一 殿

HTLV-1 (ヒトT細胞性白血病ウイルス1型)に感染した母親への粉ミルク助成を求める陳情書

2015年 5月 15日

日本から HTLV-1 をなくす スマイルリボンママの会
カランコエかごしま 代表

霧島市隼人町小田

池上 真弓

陳情の趣旨

HTLV-1 (ヒトT細胞性白血病ウイルス1型)の感染者数は全国で約 100 万人以上、鹿児島県民は約 10 人に 1 人と推定されており、歩行障害や排尿障害が進行する HAM や ATL (成人T細胞白血病/リンパ腫) といった重篤な疾病を発症しますが、これらの疾病の有効な治療法は未だ確率されていません。

このため、多くの HTLV-1 の感染者は発症の恐怖に向き合いながら様々な苦悩を抱え、HAM や ATL の患者は有効な治療法を待ち望んでいる現状です。

こうしたことから、まず、このウイルスによる感染を可能な限り減らし、将来の感染者及び発症者を減少させるために、新たな感染を予防する対策を速やかに実施する必要があると考えております。

HTLV-1 の主な感染経路は、母乳を介した母子感染ですが、人工栄養(粉ミルク)によって感染のリスクが低減できることが報告されています。

新たな感染予防には、妊婦健康診査で、HTLV-1 抗体検査を実施し、その結果に基づき適切な保健指導やカウンセリングを行うなどの母子感染予防対策が求められていますが、まだまだ不十分という現状です。

母乳感染リスク低減のために、HTLV-1 感染者の母親がスムーズな流れで断乳をし、人工栄養(粉ミルク)のみで子育てを行うことで、将来の子供達を HTLV-1 感染から守れることは明らかですが、全て人工栄養(粉ミルク)で育てるには、経済的に大きな負担となっているのが現状です。

以上の事から、下記事項について陳情します。

陳情事項

・HTLV-1 (ヒトT細胞性白血病ウイルス1型)に感染した母親への粉ミルク助成を霧島市でも実施してください。